

セッション5 水循環予測

趣旨：自然理解の水準は、予測ができるかどうかで試される

短
時間スケール
↓
長

- 降水系の階層構造と集中豪雨の予測可能性
加藤輝之(気象研) 1~2日
- ロスビー波束の碎波に伴う顕著現象の発生
榎本剛(JAMSTEC ESC) ~2週間
- 季節スケールの水循環の予測可能性
仲江川敏之(気象研) ~数ヶ月
- 地球温暖化に伴う水循環変化「予測」の信頼性
江守正多(国環研/JAMSTEC FRCGC) ~100年

時間スケール毎の予測(研究)の特徴は何か？

異なる時間スケールの予測研究で協力できることは無いか？